

# 2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 136 株式会社rhizome care

記入日 2023年(令和5年)4月19日

1. 2030年までに達成したいこと	①身体の健康予防のように「こころの健康予防」を地域で広げる。 ②ケアされる人・ケアする人もこころのメンテナンスを受けることが出来るシステムを作る ③ライフサイクルの変化に合わせた「働き心地」改革	3. 関連するゴール									
	2. 取組の概要		(1)こころのケアの場所を作ることによる精神障害の理解・予防 (2)訪問看護ステーション×臨床心理士による新しい子育て支援や発達障害やひきこもりなど自宅から出にくい方への支援等 (3)更年期(45~55歳)の人も生き生き働ける職場づくり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
											
			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 主な取組の達成状況							
		①目標値		②当初値	③実績値		達成度
		2030年度	2020年度	2022年度	2023年度		
(1)	・臨床心理士による勉強会の実施・様々な分野の勉強会 ・あかつきウィーク(無料カウンセリング週間)	参加者延べ人数	100 人	0 人	90 人		90%
(2)	・訪問看護師×臨床心理士の訪問 ・凸凹カフェあかし開催	地域で臨床心理士が活躍する(看護師×心理士訪問件数)	— 件	0 件	106 件		—
(3)	・職場内で「更年期とは？」の勉強会を実施 ・柔軟なシフトやキャリアアップの制度を作る	介護・体調不良による離職者	0 人	0 人	3 人		0%

5. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での臨床心理士の活躍の場は少しずつではあるが、開拓できている。</li> <li>・凸凹カフェあかしは、あかしSDGs推進助成金によって託児などの環境を充実させることができ、参加者を募ることができた。凸凹カフェあかし・てつがくカフェなどに臨床心理士が参加することで、専門職と地域住民が関わる場の提供や居場所作りになっている。</li> <li>・「働き心地」に関しては10時始業や、週休3日制等の制度を作っている。</li> </ul>	<b>問合せ先</b> 団体名：株式会社rhizome care 電話：078-939-4727 メール：rhizomecare2022111@gmail.com 担当者：でぐち
---------	--	---

6. 今後の課題と取組	訪問看護を通して臨床心理士の活躍の場は増えているが、まだカフェなどは知名度がなく、広報に力を入れる必要がある。また、株式会社rhizome careとして開催していた凸凹カフェあかし・てつがくカフェ・勉強会については2023年度より任意団体CocoKaraルームそらでの活動に引き継ぐこととした。	<b>連携希望</b> 明石市内全域の保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校・大学と連携し、凸凹カフェやてつがくカフェの人数を募りたい。
-------------	--	--